

もり
○森林の恵みの環境祭2014

～守ろう地球、創ろう共生社会～

6月14日(土) 昨年より一週間遅い日程、雨降りでの準備となった今年の環境祭でしたが、当日朝には雨も上がり晴天となり、途中雨がかったものの何とか開催する事が出来ました。

今年で7回目となる環境祭も、新たに十和田市緑化推進委員会と共催し、上北森林組合、上十三地区森林組合、三八地方森林組合、おいらせ知の会、青い森カービングクラブ、(社)ガールスカウト日本連盟青森県第10団、上北地域県民局農林水産部、十和田市の後援によりこのほか多くの企業からのご協力をいただき開催することができました。

当日は、山遊びスタンプラリー、木工品等の販売、山菜募金、ペレットストーブやまな板のカンナ掛け、シイタケのこま打ち体験、炭の販売等から山菜鍋の無料配布、さらには、三本木高等学校・附属中学校生徒1年生から3年生まで240名による樹書展や吹奏楽部員33名による「森と音楽の共演」と題した演奏会など参加団体による多種多様なコーナーを設けられ、子供からお爺さんお婆さん世代まで多くの地域の方が来ていただきました。

山遊びスタンプラリーでは、木にふれ合いながら6つのチャレンジをクリアするもので、木製カーリング、丸太切り、丸太釣り、積み木タワー、竹馬、ウッドアートがあり、全て回ると各団体から提供された豪華景品が抽選で貰えるとあって、子供だけでなく老若男女がチャレンジ、山菜やシイタケこま打ち体験では、募金で山菜、ホダ木をゲットしてました。

最後にチェーンソーアートの実演と製作品のオークションが行われ、その売上金は青い森カービングクラブが緑の募金として寄付しています。

今回の環境祭での山菜及びシイタケのこま打ち体験、スタンプラリー募金と青い森カービングクラブからの寄付金併せて82,457円が集まり、6月18日に十和田市緑化推進委員会へ緑の募金として寄付しております。

こうした取組みを通じ、森林の恵みにふれあい、森林・林業の重要性や地球温暖化防止のために、二酸化炭素の吸収源としての森林の役割について少しでも身近に感じていただき、収益は森に返すことで少しでも地域の役割を担うことができたとと思います。



署長による開会宣言



丸太切りタイムアタック



附属中学校樹書展と写真展



積み木タワー



丸太釣り



ウッドアートチャレンジ



吹奏楽部による演奏



積み木タワーでハイポーズ



チェーンソーアートの実演